

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 各務原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 生活交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持改善計画)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
岐阜乗合自動車株式会社	ふれあいバス蘇原線	平成27年10月に再編した新路線。高頻度での運行、パターンダイヤの採用により、継続して利用者が増加。乗降調査での満足度が最も高い路線であり、現在のサービス水準を維持しつつ、新規利用者獲得のための利用促進に取り組む。	A 計画どおり事業は適切に実施	A 【目標値】 乗車人数49,000人/年(7人/便)以上 【結果】 乗車人数56,491人/年 8.4人/便	・利用者も増加傾向にあり満足度も高いため、現在のサービス水準を維持するとともに、利用促進も継続して実施する。 ・鉄道との接続について、懇談会等で意見交換、利用実態の把握を行っていく。
岐阜乗合自動車株式会社	ふれあいバス東西線	平成27年10月に再編した新路線。医療機関や商業施設への足として徐々に利用者が増加。ただし、時間帯によって利用に偏りがあり、調査結果・住民の意見も踏まえてサービス水準の見直しを進める。	A 計画どおり事業は適切に実施	A 【目標値】 乗車人数16,000人/年(6人/便)以上 【結果】 乗車人数 18,652人/年 7.7人/便	・日中と比べて夕方は利用者が極端に少ないという、乗降調査結果や利用実績、懇談会での聞き取りも踏まえ、令和元年10月に一部便を廃止。車両は他路線へ再配置。 ・日中の利用がある便については、現状のサービス水準を維持し、継続して利用促進の取り組みも行っていく。